



協立情報コミュニティー ソリューションスクール新聞

発行
2022.6.1

No.83

6月に入り梅雨も近づいてきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
今月は「Exchangeの活用」「フィッシング詐欺の注意」についてご紹介します。

IT活用への第一歩⑦ 『メールだけじゃない！Exchange活用』

はあ…会社に戻ってこのメールの返信をしないといけないし、事務所のホワイトボードで皆の予定を確認しないと次回の会議の予定は決められなさそうね…

先輩！それならこの「Exchange」はいかがですか？

Exchangeってメールのサービスでしょ。それより部署のメンバーの予定が外出先でも見られるようにしたいわ～

それもできちゃいますよ！Exchangeは、「メール」「予定表」「連絡先」を社内で共有して、様々なデバイスで一括管理できるサービスなんです。

なので、お客様からのメールも外出先でスマホから返信したり、社員の共有された予定表を見て予定のダブルブッキングなども防ぐこともできます！

そこまで共有できるのね！でも、導入するのにサーバーの設計や構築などが色々大変そうね…

「Exchange Online」ならクラウドで利用できますし、プランによってはMicrosoft 365に含まれているので導入のハードルがグッと低くなりますよ！

無料聴講 セミナー

協立情報コミュニティー おすすめセミナー



B-2 初めてのハンズオン Exchange操作体験セミナー



第3木曜 9:30～10:30 (来場受講)
今月の開催は6月16日(木)です

【お申込み】



ひとり1台パソコンを使って、Outlook、Outlook on the Webのユーザー側の操作体験が可能です。メールの基本、予定表、会議出席依頼などをご紹介します。モバイルで閲覧する場合の画面も簡単にご案内します。

今月のイベント

皆様のご来場を心より
お待ちしております！

データとデジタル技術を活用し、
新しい価値を生み出すDX化を推進！

オンライン&来場
ハイブリッドイベント

経営情報 ソリューションフェア

会期 6/9(木) 10:30～17:30

会場 KIC協立情報コミュニティー 共創ルーム

協力 株式会社NTTドコモ・日本電気株式会社・オービックビジネスコンサルタント株式会社
日本マイクロソフト株式会社・サイボウズ株式会社



気付かないうちに引っかかる？！ ★★詐欺メールの紹介と対策★★

「フィッシング詐欺」と呼ばれる詐欺をご存じですか？偽メール・偽サイトに誘導して個人情報を入力させ、その情報を「釣り」上げて悪用する詐欺の事です。今回は、実際に届くメールの例と、その対策方法をご紹介します。

①偽メール(フィッシングメール)が届く

偽メールは、本物のメールにとてもそっくりな見た目が届くので、見た目だけでは判断できない場合があります。

②偽メール内のURLをクリックしてしまう

場合によってはクリックしただけで個人情報が抜き取られたり、端末がウイルスに感染するケースもあります。

③URL先の偽サイトに情報を入力してしまう

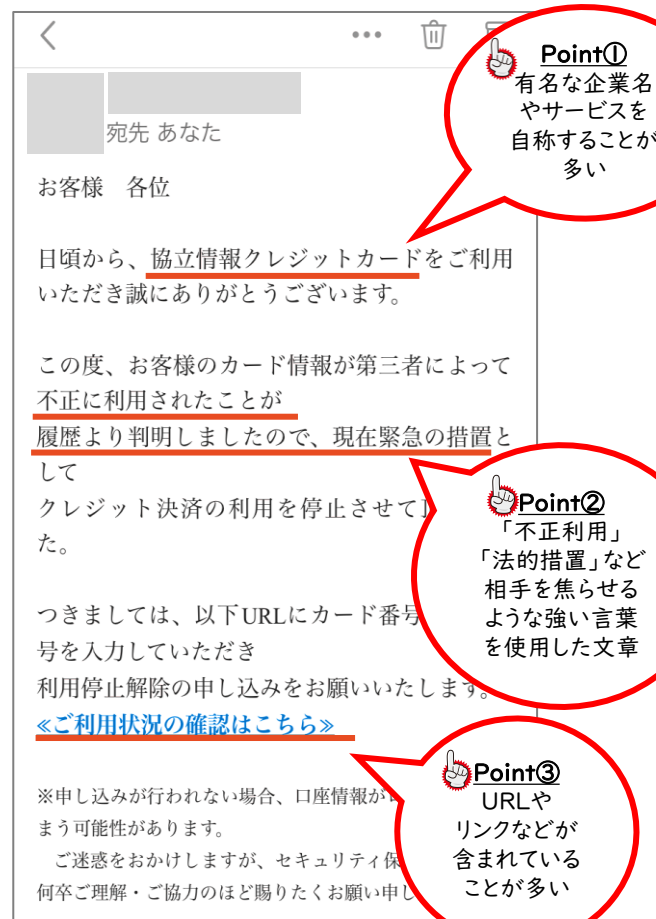
偽サイトも、偽メール同様に見ただけでは判断できないことが多いです。

④個人情報を悪用される

決済の無断利用や、IDやパスワードを変更されるとそのサービスを利用できなくなってしまう場合もあります。

Exchangeには、このような詐欺メールを自動で検知して迷惑メールボックスに振り分ける機能があるので、安心してご利用いただけます！

【偽メールの例】



《対策①》 送信元やURLを確認する

相手のメールアドレスやURLを確認して、公式のものとドメインが異なっていたり、やたらと長く複雑なアドレスには注意が必要です。

《対策②》 メール内のURLにアクセスしない

偽サイトは本物そっくりに作りこまれていることがあるため目視では判断できない場合があります。

「〇〇(サービス名) ログイン」などでインターネット検索を行い、検索結果上位のサイトを利用するようにしましょう。

《対策③》 第三者に相談する

知らずのうちに偽メールに焦っている可能性もあり、自分1人で判断するのはとても危険です。家族や同僚に相談、もしくは消費者ホットラインなどを利用するのも手でしょう。